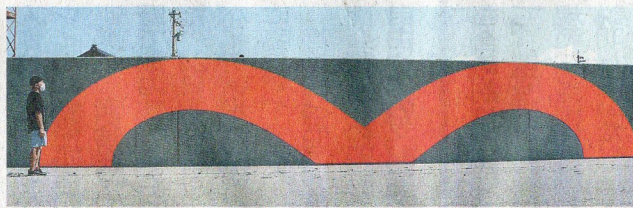


- ④黒部市の生地海岸に設置されている大きな「m」字型の作品
- ⑤蜃気楼の発生で生地海岸に出現した∞マーク（山下麻衣+小林直人「infinity~mirage」2021年）= 24日午前6時半ごろ、早月川河口右岸から撮影（魚津埋没林博物館提供）



無限の神秘

黒部市美術館 企画展 作品
蜃気楼で出現

黒部市の生地海岸に「∞（無限）マークが出現」。

海辺に設置された「m」字型のアート作品が24日朝、蜃気楼で反転して魚津市から「∞」に見えた。魚津埋没林博物館が確認し、撮影した。25日に開幕する黒部

市美術館の企画展「蜃気楼か。」の作品の一つで、会期末の12月19日まで、条件が整えば自然とコラボレーションした壮大なアートを楽しめる。

【関連記事22面、webu nに写真4枚】

千葉市のアーティストユニット「山下麻衣+小林直人」が構想期間を含め1年をかけて制作した。作品名は「infinity mirage（インフィニティ・ミラージュ）」。今月20日、生地海岸堤防にオレンジ色の看板（高さ2・3m、幅14・1m）を貼り付け、下側に反転する下位蜃気楼で∞マークが浮かび上がるタイミングを待っていた。

企画展に協力する魚津埋没林博物館が24日午前6時半ごろ、早月川河口と海の

駅蜃気楼から撮影した。

山下さんと小林さんは「おぼろげで不確かなものは、時に人に恐れを抱かせる。しかし、見方を変えれば楽しめる。不確実な世界を生きる上で、何かを考えるきっかけになればいい」と話した。

会期中は望遠カメラで生地海岸を撮影し続け、その

MEDICAL CORPORATION
FUKAGAWA HP.
ALL FOR PATIENT'S SMILE.

医療法人 深川病院

魚津市東尾崎3484番1 TEL.0765-31-6200

■居宅介護支援事業所 ■深川病院デイサービスセンター
■訪問リハビリテーション

<http://www.fukagawa-hp.or.jp>

映像を展示会場や特設サイトで中継する。企画展は北日本新聞社共催。

人と自然 関わり考える

人間と自然の関係をテーマにした映像作品「人（ ）自然」を説明する山下さん（左）と小林さん

黒部

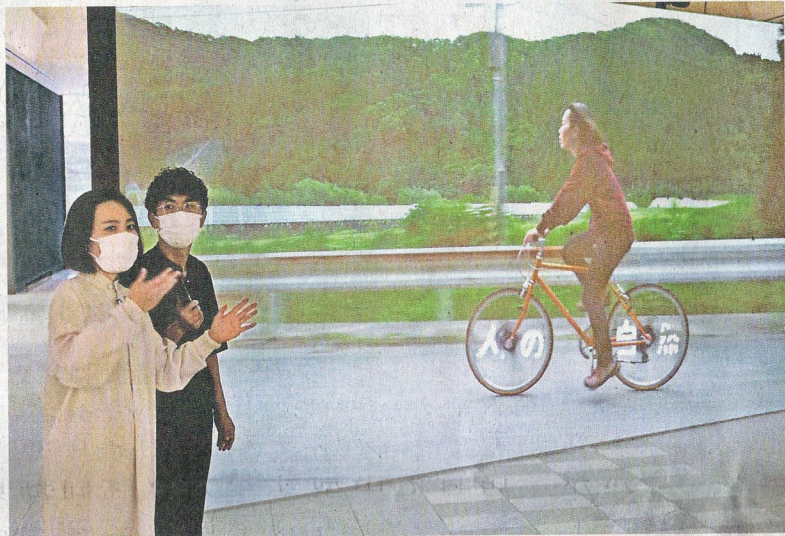
黒部市美術館の企画展「蜃気楼か。」が25日に開幕するのを前に、内覧会が24日開かれた。出品したアーティストユニット「山下麻衣+小林直人」の2人が、人と自然の関わりをテーマにした現代アートを説明した。

【関連記事1面】

2人は千葉市を拠点とし、横浜トリエンナーレや瀬戸内国際芸術祭などで活躍してきた。県内で作品を発表するのは今回が初めて。

映像作品を中心に6点を展示した。「人（ ）自然」は朝日町の間部を自転車で走行する映像で、特殊な仕掛けを施したタイヤに「人と自然」「人も自然」などのメッセー

「蜃気楼か。」きょう開幕 市美術館



ジが徐々に浮かび上がる。美術館周辺の葦を撮影した「考える葦／考えない葦」や、芝生の上を走り続け、∞(無限)の形の道をつくる過程を撮った「infinity (インフィニテ

ィ)」などを紹介している。

2人は「作品は人と自然の関係を考えてきた思考の断片。思いを巡らせ想像しながら見てほしい」と話した。企画展は12月19日まで。